

Kashima Public Relations



鹿嶋らしさを世界へ発信!



鹿嶋市長 錦織 孝一
7月10日、IOC
理事会に
おいて、県
立カシマ
サッカー
スタジアムが「茨城カシマスタジアム」という名称で、東京2020オリンピックのサッカー競技会場に正式に承認されました。サッカー競技会場の誘致に積極的に取り組んでいた本市としては、その思いが届き大変うれしく思います。

今回の決定は、東日本大震災により甚大な被害を受けたながらも、力強く復興を成し遂げたシンボルとして茨城カシマスタジアムが、高く評価されたからだと考えております。

本市は、2002年に開催されたサッカーワールドカップにおいて、「イベントやおもてなし」対応で、多方面から評価を受けました。東京2020オリンピックでは、このような「鹿嶋らしさ」をぜひ生かしてまいりたいと思います。

来たるべき3年後の大会成功に向け、一緒に頑張りましょう。

東京2020オリンピックサッカー会場に決定

東京2020オリンピックは、平成32年7月24日(金)～8月9日(日)に開催されます。

今後、サッカー競技会場としての本市の取り組みを『広報鹿嶋』などで随時お知らせしていきます。

茨城カシマスタジアムの追加決定により、サッカー競技は既に招致段階から計画されていた6つの会場(右図)と合わせ、計7会場で行われることとなりました。

世界中のアスリートが目指す夢舞台が“わがまち鹿嶋”にやってきます。本市は、2002年にワールドカップで、来訪者へ心を込めたおもてなしを行い、メディアなどで称賛されました。2011年には東日本大震災で被災しましたが、強い絆や希望、市外からの多くの温かい支援で見事に復興しました。

このおもてなしの経験と被災によって得た強い絆、復興まで多くの支援をいただいた感謝の気持ちを胸に、私たち約6万8千人の市民、団体、企業、行政が総力を挙げて、鹿嶋にしかできないおもてなしを共に創り上げ、3年後の東京2020オリンピックを成功させましょう。



株式会社鹿島アントラーズFC 代表取締役社長 庄野 洋

このたび、茨城カシマスタジアムが東京2020オリンピックの会場に正式決定したことを受けて、大変光栄に感じております。クラブにとってもホームタウンの地域活性化、国際化が期待できる、素晴らしいニュースと言えます。鹿島アントラーズは、会場の指定管理者という立場から、東京2020オリンピックの開催に向け、万全の態勢で臨むつもりです。

また、スタジアムは東日本大震災で多大な被害を受け、復興を果たした施設での開催に、大きな意義と責任を感じています。今後、大会が無事成功に終わるよう、スタジアムのさらなる機能強化や周辺環境整備が進むことを期待しております。



鹿嶋市議会議員 池田 芳範

東京2020オリンピックのサッカー競技が鹿嶋市で開催決定となったことは、わが郷土に新たな歴史を刻むとともにこの上ない喜びであります。長期に渡り誘致にご尽力をいただいた関係者に心より感謝申し上げます。

市議会としても市民と一緒に、ワールドカップで培ったおもてなしの心で各国の方々をお迎えし、本市の魅力を世界に発信していきたいと思っております。

そして、オリンピックの理念、精神を改めて心に刻み、みんなで成功を期しましょう。



鹿嶋市商工会会長 飯島 昌寿

東京2020オリンピックサッカー競技会場として茨城カシマスタジアムが正式決定されましたことを心よりお慶びを申し上げます。

平素から鹿嶋市ではスポーツボランティアの活躍をはじめ、観光面でも“ふるさとガイド”の案内、スタジアムでは地元の味として数々の名物料理を販売し地域一体となっておもてなしを行っております。このことがワールドカップにおいても茨城・かしまのおもてなしの評価をNO.1に押し上げたのではないのでしょうか。商工会では、歓迎のフラッグを市内に飾り、心を込めて選手、お客様をお迎えしたいと思います。



鹿島アントラーズFC 曾ヶ端 準

鹿嶋は、東日本大震災で被災し、茨城カシマスタジアムも大きな被害にあったため、今回東京2020オリンピックが開催されるというニュースを聞き、とても感激しました。震災時、チームは試合も練習もできなくなり、一時解散を余儀なくされました。選手たちは、個人トレーニングを続けるなか、復旧作業や物資が不足している他地域への支援も行いました。その後、代替地となった国立競技場で4試合を戦い、震災から3カ月後の6月、ついに復旧したスタジアムで試合をすることができました。あのときの感動、サッカーができる喜びは今でも忘れられません。東京2020オリンピック開催では、サッカーの楽しさを伝えるとともに鹿嶋市を盛り上げられるようがんばります。



鹿嶋市アントラーズPR大使 内田 香奈恵

茨城カシマスタジアムの東京2020オリンピックサッカー会場決定おめでとうございます。私は鹿嶋市アントラーズPR大使として、市や鹿島アントラーズの魅力を見つけSNSを通じて発信しています。

全国ではまだ、鹿嶋市ってどこ?何が有名な?という方も多いと思います。東京2020オリンピックまでに私たちができることは、1人でも多くの方に鹿嶋を知ってもらえるよう、市民の私たちが感じた鹿嶋市の魅力をSNSなどで発信し続けて行くことだと思います。PR大使の皆さん、共にごがんばりましょう!



波野サッカースポーツ少年団 大川 和流

私の夢は、プロサッカー選手になることです。小さい頃から何度も足を運んでいる茨城カシマスタジアムが東京2020オリンピック会場になると聞いて、その時は、観戦ではなく、選手として出場したいと思いました。

東京2020オリンピックまでに私ができることは、夢に向かって練習に励むこと、そして、外国から来るたくさんのお客様に楽しんでもらえるように、まちをきれいにすることです。鹿嶋市には、私のようにサッカーが大好きな仲間がたくさんいるので、みんなで協力して2020年を迎えたいです。



鹿嶋らしい
おもてなし
総力戦!

今回、開催決定の喜びを分かち合うとともに、東京2020オリンピックに向けた意気込みをお聞きました。

東京2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー

Tokyo 2020 Olympic Flag and Paralympic Flag Tour

オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグを みんなで歓迎しよう！

重点プロジェクト推進室

東京2020大会の機運を日本全国で盛り上げるため、「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」が、茨城県内では本市を皮切りに9月末まで実施されます。

このイベントは、オリンピック・パラリンピック出場選手や出場経験者などのフラッグツアーアンバサダー（大使）が、リオ2016大会閉会式（フラッグハンドオーバーセレモニー）にてリオ市長から東京都知事へ引き継がれたフラッグをもとに製作されたオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグを持って全国各地を巡回し、市民と交流を図るといふものです。

7月29日の当日は、フラッグの到着に合わせて、スポーツ最大の祭典である東京2020オリンピック・パラリンピックを歓迎し、東京2020大会成功に向けたイベントが開催されます。

ぜひお越しいただき、みんなで東京2020大会を盛り上げましょう。

◆フラッグ歓迎イベント

【時】7月29日（土）13:30～

【所】カシマススポーツセンター

【内容】

フラッグ引継ぎ式、アンバサダーによるトークショー、記念撮影など

◆フラッグ展示

歓迎イベント終了後、市内2カ所でフラッグの展示を行います。

【展示場所】7月30日（日）＝カシマススポーツセンター、7月31日（月）～8月1日（火）＝市役所第2庁舎1階



Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI
▲リオ2016パラリンピック
フラッグハンドオーバーセレモニー

【主催】東京都／東京2020組織委員会／JOC／JPC



みんなの使用済小型家電を メダルに変えよう！

廃棄物対策課

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会では、東京2020大会で使用するメダル約5,000個について、皆さんがお持ちの使用済み携帯電話などの小型家電から制作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施しています。

現在、市もこのプロジェクトに積極的に取り組んでおり、市内では市役所のほか、各公民館などに回収ボックスを設置しています。

東京2020大会の成功に向け、ぜひ皆さんのご協力をお願いします。

【回収場所】市役所第2庁舎入口・まちづくり市民センター（中央公民館）・各地区公民館（まちづくりセンター）・中央図書館

【対象品目】30cm×15cmの投入口に入る大きさで以下のもの。

電話機、携帯電話、公衆用PHS端末、デジタルカメラ、ビデオカメラ、ゲーム機（据置型・携帯型）、携帯オーディオプレーヤー、電子辞書、CDプレーヤー、MDプレーヤー、ICレコーダー、テープレコーダー、ETC車載器、VICSユニット
※詳しくはプロジェクトのホームページをご覧ください。

【HP】<http://www.toshi-kouzan.jp/>



▲市役所第2庁舎入口に設置した回収ボックス

【市の花】はまなす



【市の木】松



【市の鳥】きじ



広報 鹿嶋

平成29年7月22日No.550

【発行】鹿嶋市 〒314-8655 茨城県鹿嶋市大字平井1187-1
【編集】政策企画部 秘書広報課 ☎0299-82-2911(代表) ☎0299-82-0789
【HP】<http://city.kashima.ibaraki.jp/>
【Eメール】hisyo1@city.ibaraki-kashima.lg.jp



スマートフォン用